

宮崎県保育者育成指標（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）

ステージ		【プレステージ】 (採用前)	【ファーストステージ】 (1～5年)	【セカンドステージ】 (6～10年)	【ミドルステージ】 (11～20年)	【トップステージ】 (21年～)	
資質能力		保育者に求められる資質能力について理解し、その基盤を身に付ける。幼児教育・保育に対する知見を広げ、情熱や使命感を温める。	保育者として必要な基礎的・基本的な能力を身に付けていく。様々な業務に積極的にチャレンジする。	保育者として必要な基礎的・基本的な能力を確立する。専門性を深め、得意分野を伸ばす。	保育者としての専門性を発揮し、組織のミドルリーダーとして活躍するための能力を身に付ける。自分自身のキャリアデザインを確立する。	自分自身の高い能力や専門性を発揮する。園内の指導的な立場として人材育成を図るとともにリーダーシップを発揮する。	
1 保育者に必要な素養	使命感と熱意	保育者としての使命を理解することができるとともに、自ら学び続ける意欲及び研究能力を有している。	保育者としての自覚をもち、組織の一員としての行動ができるとともに、専門性を高めるために自ら学び続けることができる。				
	コミュニケーション能力	状況に応じて、相手が理解できるように自分の考えを伝えたり、相手の話を丁寧に聴いたりすることができる。	関係者との連絡調整を適切に行い、職務を円滑に遂行できる。				
	倫理観・法令遵守	高い倫理観を有するとともに、法令を遵守することの重要性を理解することができる。	高い倫理観に基づき、法令を遵守した教育・保育を展開することができる。				
2 教育・保育の実践	指導と評価の力	保育計画等の構想力	要領・指針等を理解するとともに、育成を目指す資質・能力を踏まえた環境の構成や活動の展開のイメージをもつことができる。	要領・指針等に基づき、育成を目指す資質・能力を踏まえた環境の構成や活動の展開を図る計画の立案ができる。	要領・指針等及び自園の方針に基づき、育成を目指す資質・能力を踏まえた環境の構成や活動の展開を図る計画の立案ができる。	要領・指針等及び自園の方針に基づき、育成を目指す資質・能力を踏まえた環境の構成や活動の展開を図る計画を立案し、同僚へ助言ができる。	
		環境構成と乳幼児への関わり	環境の構成や乳幼児への関わりに必要な基礎的な保育のスキルを獲得している。	基礎的な保育のスキルを生かした環境の構成や乳幼児への関わりができる。	乳幼児の実態に応じた環境の構成や乳幼児への関わりができる。	乳幼児の実態に応じた環境の構成や乳幼児への関わりができるとともに、同僚へ助言ができる。	
		乳幼児理解に基づいた評価と改善	乳幼児の発達をとらえる方法について理解している。	乳幼児一人一人の発達をとらえるとともに適切な保育の改善ができる。	適切な乳幼児理解と評価に基づく保育の改善ができる。	適切な乳幼児理解と評価に基づく保育の改善ができるとともに、同僚へ助言ができる。	
	乳幼児理解と集団づくりの力	乳幼児理解	乳幼児理解の意義と重要性を理解している。	乳幼児を取り巻く環境を理解し、幼児一人一人に向き合うことができる。	園の乳幼児を取り巻く環境や多様な個性を理解し、幼児一人一人に向き合うことができる。	園の乳幼児を取り巻く環境や多様な個性の理解について、必要な配慮などを園全体に発信できるとともに、同僚へ助言ができる。	
		個と集団の援助	・個や集団を保育するスキルを理解している。 ・幼児教育と小学校教育のつながりを理解している。	・保護者や園内組織と連携して、個に応じた保育ができる。 ・小学校との交流会等を計画、実施できる。	・関係機関等と連携した保育ができる。 ・小学校への円滑な接続に向けたカリキュラム作りができる。	・関係機関等と連携した園全体の指導やカリキュラム作りができる。 ・小学校への円滑な接続に向けた組織作りや計画の見直しや改善ができる。	
	特別な配慮や支援を必要とする乳幼児への対応	特別支援教育に関する理念や保育・支援方法等の工夫について理解している。	特別な配慮や支援が必要な乳幼児の教育的ニーズを把握できるとともに、保護者や園内組織と連携し、一人一人に応じた適切な保育・支援ができる。	特別な配慮や支援が必要な乳幼児の教育的ニーズを把握できるとともに、関係機関と連携し、一人一人に応じた適切な保育・支援ができる。	特別な配慮や支援が必要な乳幼児の教育的ニーズを把握できるとともに、具体的な保育・支援の方法や関係機関との連携方法について、同僚へ助言ができる。		
	ICTや情報・保育データの活用	ICT及び情報・保育データの活用に関する目的の理解や、知識や技術を獲得している。	ICTや情報・保育データを、乳幼児の直接的な体験を生かすための保育や、保育の可視化、家庭への情報発信等に活用ができる。	ICTや情報・保育データを、乳幼児の直接的な体験を生かすための保育や、保育の可視化、家庭への情報発信等に工夫しながら活用できる。	ICTや情報・保育データを、保育や保育の可視化、家庭への情報発信等、効果的に活用するとともに、活用について、同僚へ助言ができる。		
	3 マネジメント	組織としての園の理解と園経営	組織としての園や園務分掌、担任の役割と職務内容を理解している。	園の目標を理解した上で学級経営の方針を策定し、実践することができる。	分掌主任等として、「園全体の組織的な取組」を意識した園経営を積極的に推進することができる。	「園全体の組織的な取組」を意識して、PDCAサイクルの進行管理を行い、保育の改善や充実を図ることができる。	「園全体の組織的な取組」を意識して、PDCAサイクルの進行管理や保育の改善・充実について、同僚へ助言ができる。
		人材育成	組織的な人材育成の重要性について理解している。	新規採用者等のメンターとして、園内の組織的な人材育成に参画できる。	分掌主任、学年主任等として課題を共有できる環境作りや、OJT等とおした人材育成ができる。	園全体の組織的な取組の中核を担う保育者として、課題を共有できる環境作りや、OJT等とおした人材育成ができる。	園内の指導的立場として、課題を共有できる環境作りや、OJT等とおした人材育成について、同僚へ助言ができる。
		業務遂行・時間管理能力	計画的な業務遂行と時間管理の意義と重要性を理解している。	担当業務を責任と時間管理の意識をもって正確かつ迅速に遂行できる。	担当する分掌業務等を責任をもって適切に進行管理できるとともに、質の向上や時間管理の観点で業務の改善ができる。	園全体の業務を責任をもって適切に進行管理できるとともに、質の向上や時間管理の観点での業務の改善ができる。	園全体の業務を責任をもって適切に進行管理できるとともに、質の向上や時間管理の観点での業務の改善について、同僚へ助言ができる。
危機管理		危機管理の重要性及び危機を察知した際の行動を理解している。	安全に配慮した教室環境等の整備と、危機を察知した際の迅速な対応ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機を察知した際の迅速な対応ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見、早期対応及び再発防止について、組織として対応することができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見、早期対応及び再発防止について、組織として対応するとともに、同僚へ助言ができる。	
家庭、地域との連携と子育て支援		・園行事等を通じて、家庭や地域との連携の重要性を理解している。 ・子育て支援の在り方について理解している。	・家庭、地域と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。 ・実態に応じた子育て支援ができる。	・家庭、地域、関係機関と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。 ・自園の実態にふさわしい子育て支援を企画することができる。	・家庭、地域、関係機関との連携・協働のネットワークの確立ができる。 ・子育て支援のための環境作りや環境改善を進めることができる。	・家庭、地域、関係機関との連携・協働のネットワークの維持・強化を図ることができる。 ・子育て支援のための環境作りや環境改善について、同僚へ助言ができる。	